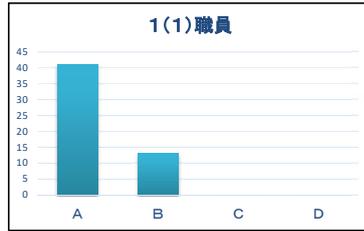
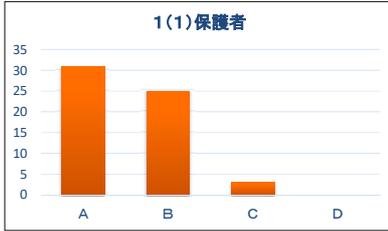


令和3年度 第2回学校評価アンケート 集計結果（保護者・職員）

まとめ：学部内で定めた方向性をもとに教育活動を継続し、保護者に子どもたちの成長や活動の意図を伝えていく。

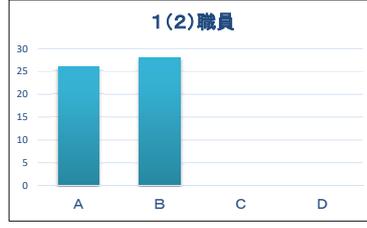
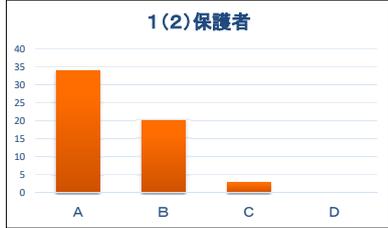
1 学校・家庭・地域との連携について

(1) 学校からのたより（学部だより、学級通信、連絡帳、保健だより、キャリア教育だより、Webページ等）により、学校の取り組みや幼児児童生徒の様子が家庭に伝えられている。

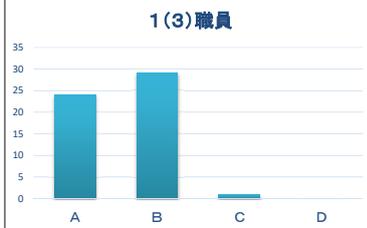
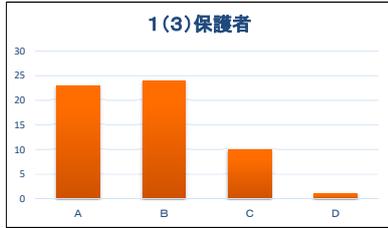


学部内で、子どもたちの実態や支援について共通理解を図り、保護者と共通理解を図っていく。

(2) 個別面談等により、学部・学校の教育方針や生徒・保護者の願いについて、「個別の教育支援計画」をもとに、学校と家庭で共通理解が図られている。



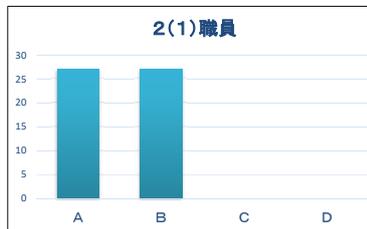
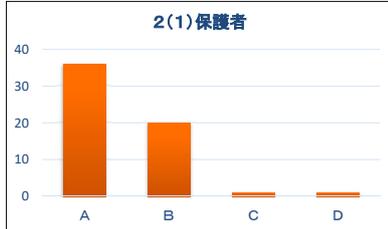
(3) 地域の保育園・幼稚園や学校との交流、地域に貢献する活動、大会への参加等、感染症対策に配慮しながら意義ある体験の計画や実施がなされている。



活動の目的を見定め、できる方法で体験の場を確保する。

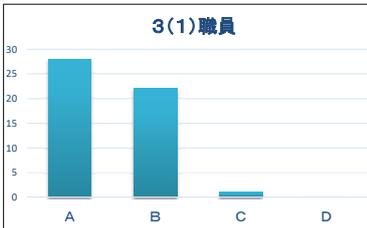
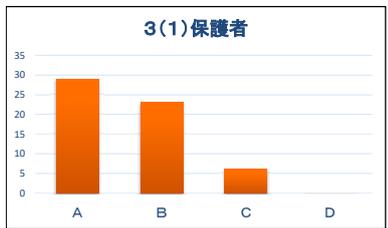
2 個に応じた指導について

(1) 「個別の指導計画」をもとに学校と家庭が話し合い、個に応じた指導が行われている。



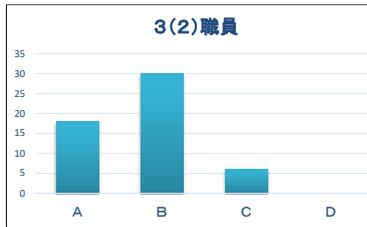
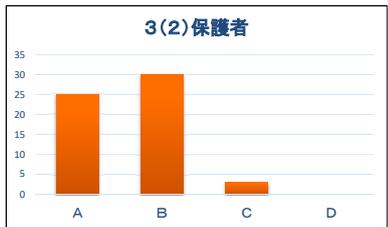
3 学習について

(1) 学習内容の定着や学力向上のために、実態に合わせた指導、わかる授業の工夫（視覚教材の活用等）、家庭学習課題、個別学習、補習等の取り組みがなされている。



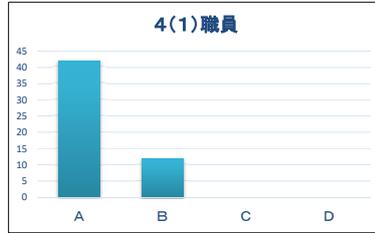
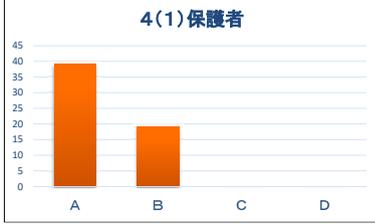
ICT等を含め、どのような力を身につけるための活動なのかを意識し、実践、改善する。

(2) 学部や発達段階に応じて、本の読み聞かせ、図書の紹介、委員会活動、朝読書、教科学習との関連づけ等をし、読書好きな子どもを育てている。

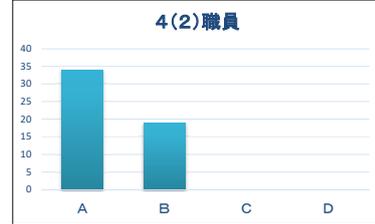
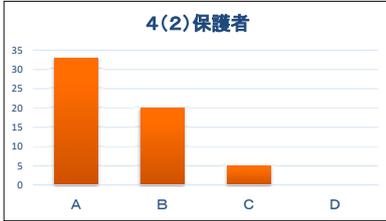


4 生活について

(1) お子さんの健康上の配慮や対応について、保護者と学校とで連携できている。

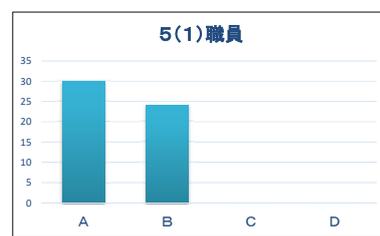
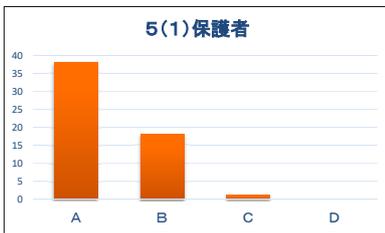


(2) お子さんの生活指導（あいさつ等の基本的な生活態度、いじめ防止、教育相談等）について、家庭、学校、必要に応じて関係機関（スクールカウンセラー等）で情報を共有しながら取り組んでいる。

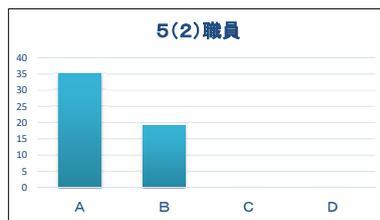
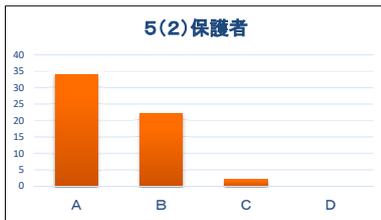


5 安全について

(1) 学校における非常時（不審者・火災・地震等）の訓練や安全に対する教育が適切に行われている。

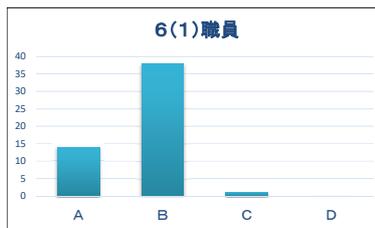
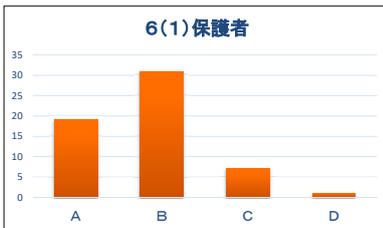


(2) 幼児児童生徒の活動において施設等の安全が確保されている。



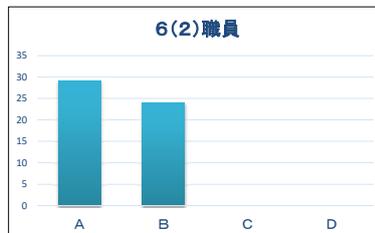
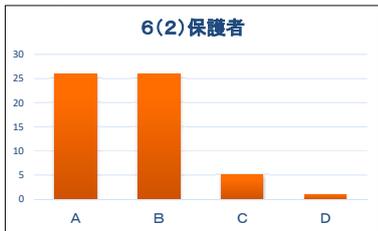
6 進路指導について

(1) キャリア・パスポート教材（小・中・高で実施）や進路相談等をととして、お子さんの将来を考える機会が役に立っている。



子どもたちの将来や進路に対して、学部内・学部間で方向性を定め、行事を実施したり情報を提供したりする。

(2) 地域の学校や事業所の見学、卒業生の話を聞く会等、校外の資源と連携した進路行事が感染症対策を講じながら適切に計画・実施されている。



7 コミュニケーションについて

(1) 発達段階や活動の目標に配慮し、学校生活全般で様々なコミュニケーション手段を選択し、活用している。

